

復活節第2主日・(白)

主日礼拝

2025年4月27日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前奏 『目覚めよ、歌えよ（讃美歌 21-329 番）』 北澤 憩
招詞 申命記10章21節
賛美歌 21-329

《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖書 イザヤ書65章17～25節 (旧約1153頁)
マタイによる福音書28章11～15節 (新約58頁)

こども説教
交読詩編 詩編16編5～11節 (18頁)

賛美歌 21-407
説教 「真実の力」 八木浩史牧師
祈禱
賛美歌 21-333

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
献金
祈禱 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 544
祝福
報告
後奏 『キリストは甦りぬ』 J.K.F. フィッシャー

礼拝当番: 児玉尚生(役員:) 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「真実の力」

『イザヤ書』からの箇所は、バビロン捕囚解放後の様子が背景となっています。帰還の民はエルサレムに戻ってきましたが、都の再建は彼らが思い描いていたようには進みませんでした。サマリヤによる圧力や、残留していた人々との対立により生活を立て直すために労苦しなければなりませんでした。さらに偶像崇拜が至るところで行われており、神殿再建も捗らなかったのです。厳しい現実の中で、イスラエルの民は希望を持てずに過ごしていました。そのような民に対して、神からの希望のメッセージが告げられます。「見よ、私は新しい天と地を創造する」とのこと。エルサレムを中心として全く新しい世界が神によって創造されるのだということです。そこには悲しみがなく、平和が続き、皆が家を建て、畑からぶどうを収穫し、誰もが長生きするというような祝福された世界がもたらされるとのこと。現実にと比べると信じ難いのです。しかし創造主である神にはできるのです。

『マタイによる福音書』では、墓の番をしていた兵士たちが祭司長たちのもとへ行き報告します。祭司長たちは長老たちと相談して、兵士たちに多額の金を与え、主イエスが復活されたことを隠し、弟子たちが夜中にやって来て死体を盗んで行ったことにしようと企みます。この嘘を信じる人々が多かったようです。死んだ人が復活するはずはないと考える人が多いのです。ゆえにこの嘘の方を信じる人が多かったのでしょう。しかし主イエスの復活は、神の御業なのです。嘘はやがて消え去り、主イエスの復活が世界中で信じられ、祝われるようになります。それが真実であるからです。